

アクション・京都 NEWS



あらゆる年代地域職場で署名を！ 中高生・青年へ向けて署名を訴えよう

左京市民アクションでは、アベ改憲を阻止するため、懸命に9条改憲反対の署名を集めています。その中で青年学生にも署名を進め、先日11月8日の学生向け署名では一人で98筆を集める事が出来ました。自衛隊が憲法に書き加えられてしまったら、必ず若い人たちが犠牲となります。それだけは阻止しなければなりません。そのために、若い人たちに本当のことを知って欲しいと、憲法漫画を作り「何故戦争はなくなるのでしょうか」という文章を手渡ししながら説明をしています。中学生、高校生たちは「それは大変だ みんなで署名をしよう」と誘いあって署名をしてくれます。

しかし、私たちの呼びかけに全く反応しない生徒さんたちもいますし、個人情報を書きたくないし署名自体しません、という生徒さんもあります。

それでも先日、中学生の団体に署名を呼びかけていたら、引率の先生たちが「署名は慎重によく考えてからにしないよ」とおっしゃったのに、「先生が真っ先に署名しないとイケないんちゃうの?」と反論している姿を見ました。中学生たちはちゃんと理解しているようです。

私たちは、今この日本で起こっている政治状況を、正確に伝えることが何より大切なことです。交流集會も開催します。若い人たちに説明し署名集めをするとは、意義のあることです。全力を尽くしましょう。



**高校生・大学生などへ 3000 万署名を働きかけるミニ交流会開催!!
～3000 万署名、高校生（大学生）にどう迫る?～**

○日時:12月4日(火)午後2時開会～4時まで
○会場:キャンパスプラザ京都 5階第一演習室

呼びかけ
左京アクション

安倍首相の憲法改悪策動は許さない 11月19日演説会&デモ460人 今国会へ憲法改悪案の提案はさせない!



11月19日「戦争をさせない1000人委員会京都連絡会」が呼びかけ団体となり、「安保法制廃止をめざす市民アクション@きょうと」「京都憲法共同センター」共同で、毎月開催している「演説会(スピーチ)&デモ」を市役所前で開催、460名が参加しました。国民のおおくが改憲を優先すべき課題と考えていない、とどの世論調査でも示され、改憲発議が困難を増しています。しかし、安倍首相は国会で、改めて9条改憲に取り組む姿勢を表明し、改憲派の議員を内閣や自民党の中核

に配置し、改憲発議をなんとしても進めようとしています。

スピーチは「戦争をさせない1000人委員会京都連絡会」が進行し、最初に呼び掛け人を代表し運営委員の大湾氏があいさつを行い、続けて安倍9条改憲NO!左京市民アクション事務局長の板東さん(左京革新懇)・9条の会醍醐事務局長の保田がスピーチしました。その後アクション京都事務局メンバーの小笠原弁護士が全国的な情勢にも触れ、安倍改憲への世論の反発の中で、自民党内の対応や世論誘導などを強めて、来年の参議院選挙までの間に改憲発議を進めようとしている。今国会で隙を見せずにたたかいを強めるとともに、来年の通常国会か山場になる。最後まで力を合わせて改憲発議を阻止しよう、と訴えました。最後に「戦争をさせない1000人委員会」運営委員の中尾氏があいさつしました。

【前回記載訂正:木戸衛一さんの肩書は、「憲法9条京都の会代表世話人」でした】

発行:「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション・京都」
連絡先:〒612-8081 京都市伏見区新町11丁目365 憲法9条京都の会
FAX 075-603-8135 メール action.kyoto@gmail.com
振込口座(ゆうちょ銀行)全国市民アクション・京都 (番号)00960-5-173844